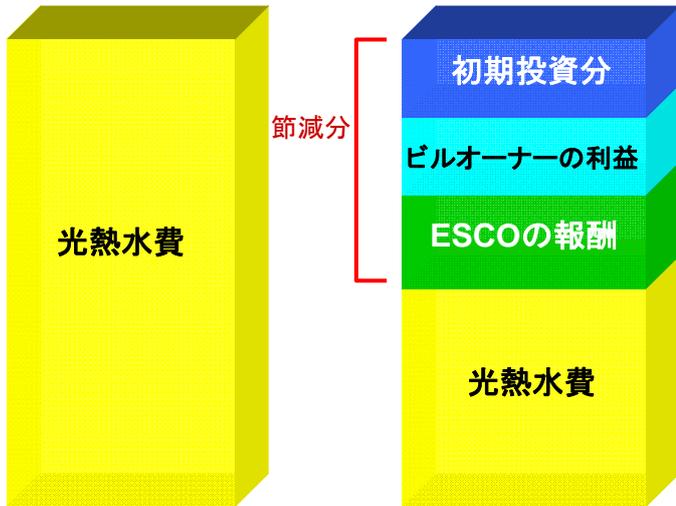
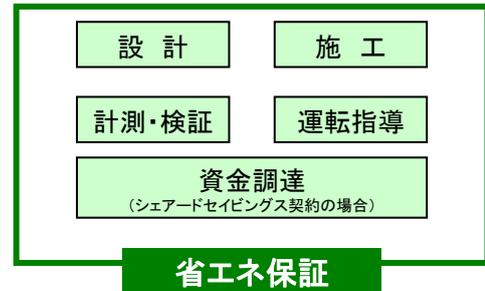


## ESCO事業って何？

ESCO: Energy Service Company (ビルや工場の省エネルギー化に必要な「技術」「設備」「人材」「資金」を包括的に提供するサービス)



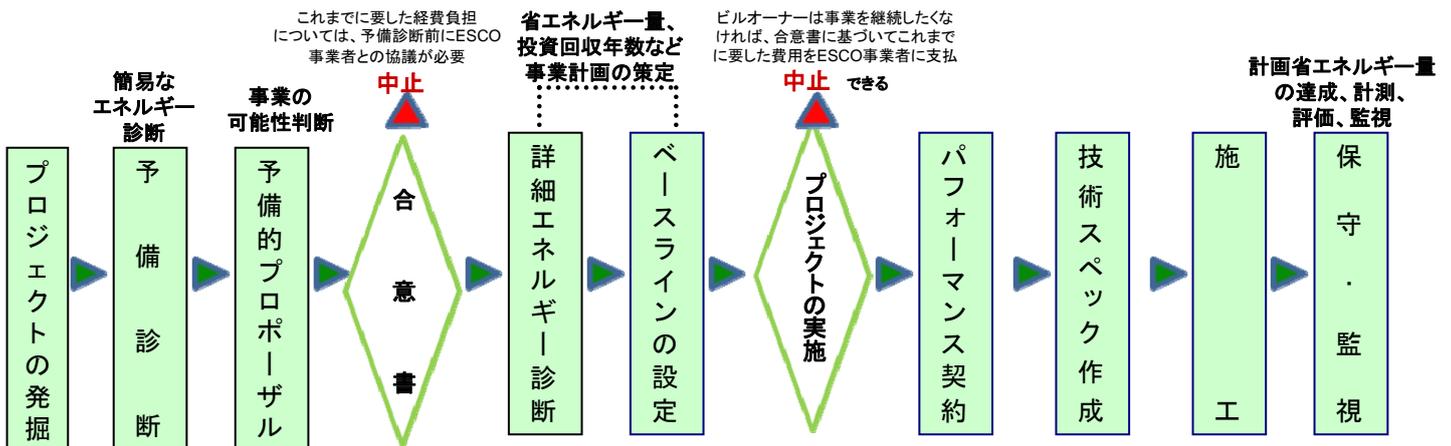
ESCO事業は、省エネルギーによって削減される光熱水費の一部を充当して改修工事費を賄い、残額をビルオーナーに還元するビジネスモデルです。



ESCO事業者は包括的なサービスを提供する特徴があります。

## ESCO事業導入のフロー

一般的には以下のような流れになります。ESCO事業者による「省エネルギー診断」を受けることが、ESCO事業検討の第1歩です。



## 契約方式は大きく2つ

ギャランティード・セイビングス契約とシェアード・セイビングス契約です。

### ギャランティード・セイビングス契約(自己資金型)

### シェアード・セイビングス契約(民間資金活用型)



#### 特長

- 所有権が全てビルオーナーに一元化
- ビルオーナーがESCO事業者より資金調達力があれば有利
- ビルの運営形態の変動にも対処が容易



#### 特長

- 初期投資不要
- 中長期的なビルの運営が前提条件

図出典「大阪府ESCO事業導入マニュアル」大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課

## 当協会の活動は？

ESCO事業、環境保全、省エネルギー、再生可能エネルギーに関する普及・啓発調査研究、情報交換などの活動を通じて、地球環境や低炭素社会の実現に貢献します。